

にら★ちび

森の公園くらぶ通信 ⑦ 2018. 1. 23

【テーマ】

♥親子 DE 自然体験のススメ♥



あたらしい1年が始まりましたね。みなさん、今年はどんな1年にしたいですか？せっかくなので『あの頃、たくさん外で遊んだね〜』と記憶に残るくらい外遊びをするような1年にさせていただきたいと思います♪

子どもが大きくなると、だんだんと親より友達…外で遊ぶよりインドア系のお楽しみや習い事が多くなる生活にどうしてもなりがちです。子どもは子どもで忙しい毎日が待っています。なので、その前のまだ親子の時間が確保されているうちに！どんどん一緒に外遊びに連れ出しちゃいましょう♪小さい頃に外で遊んだ感覚や記憶が残っている子は、大きくなってまた自然と触れ合う体験を改めて好むようになることも多いです。豊かな感性を刺激するような経験や、たくましい体作りができる自然体験は小さな頃からしておいて損はないと思います。



大人なら多くの方が自然体験で受ける恩恵を頭では理解しています。また、教育の上でも自然の大切さなど、子どもたちはあらゆるところでたくさん耳にして育っていくと思います。でも、どうでしょう。いくら頭でわかっているようでも、多少の体験があったほうがこどもの中にもスッと入って行きやすいのではないかと思います。

実際にあった話ですが、カブトムシが好きだという子に、じゃあ一緒に採りに行こうよ！と声を掛けたら、すぐに家に戻ってお財布を持ってきた…という出来事がありました。これを「今どきの子は…」と言ってしまうのは簡単ですが、小学生になるまでたまたまその体験がなかったというだけのことです。

その後、「買っても手に入るけど、自分で採りに行ったほうがもっとおもしろいし、かわいく思えるよ！」と話を一緒に採りに行きました。私が行ったその日は思うようには手に入りませんでしたが、後日その子はお父さんと一緒に採りに行っておうちでちゃんとお世話をしたそうです。

お父さんはまさか自分の子どもが「生き物は買うもの」と思っていたとは思わなかったそうでとても驚いていました。自分が体験していても、子どもが必ずしもそれをわかっていることはないのだな、と私自身もハッとさせられた出来事でした。



昔は当たり前にあったものを体験させたいと思うとき、もしかしたら今は「出逢えるように」しなければいけない時代かもしれません。でもそれが自然体験であるならば、そんなに難しいことではないように思います。すごく大変なことまではしなくても、ちょっと寒いけど・ちょっと暑いけどお父さんと一緒に外へ出て自然の中へ足を向けることはおうちの方にとっても非日常感やリラックスできる感覚を与えてくれるのではないのでしょうか。

何よりも、普段より行動を制限されない環境でのびのびと楽しむお子さんを見ていつもの生活の中では得られないような自分の想いに出逢えるかもしれません。

10年ほど前、元気すぎる息子との毎日に疲れ果てていたスタッフKはそんなことを感じました。日々に疲れていた私にも、パワー有り余る子どもにも自然はいつも優しくだったのでした。親も子も心地の良い何かを得ることができるのが外遊び・自然体験の良さだと思っています。身をもってみなさんにも親子で自然体験をおすすめします☆

次回の公園くらぶは…

『新聞ボールで遊ぼう』と今回中止になってしまった『くるくるたこ』でも遊べたらいいなと思っています！

お楽しみに♪

